

(様式1)

校番	高4
----	----

平成28年 7月 27日

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校(全日制)

校長 荒木 猛

平成29年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書選定手順(報告)

月日(曜日)	選定手順の内容
6月8日(水)	・平成29年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書採択事務説明会に出席する。
6月10日(金)	・校長は、校内における平成29年度使用教科用図書選定に係る事務の推進を行うため「平成29年度使用教科用図書選定委員会」を組織する。
6月13日(月)	・校長は、調査員を任命する。
6月18日(土)	・選定委員会において、教科用図書選定が適正かつ公正に行われるよう協議し、調査の観点及び視点を決定する。
6月21日(火)	・選定委員会は、調査員に教科用図書を調査する観点及び視点を示す。
6月21日(火) ～7月8日(金)	・調査員は、選定委員会の依頼に基づき、教科書目録に記載されている教科用図書について、調査研究を行う。
7月11日(月)	・調査員は、調査結果を選定委員に報告する。
7月16日(土)	・選定委員会を開催し、平成29年度使用教科用図書について審議し、その結果を校長に答申する。
7月20日(水)	・校長は、選定委員会からの答申に基づき、平成29年度使用教科用図書申請書を作成する。
7月27日(水)	・校長は、広島市教育委員会へ、平成29年度使用教科用図書申請書を提出する。

(様式2)

校番	高4
----	----

平成28年 7月 27日

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校 (全日制)

校長 荒木 猛

平成29年度使用高等学校・中等教育学校 (後期課程) 用教科用図書選定資料 (報告)

1 学校の特色

本校は機械科・自動車科・電気科・情報電子科・建築科・環境設備科の6学科、1学年6クラスを設置している。

教育課程は、平成18年度から3年間、文部科学省研究指定事業「目指せスペシャリスト」に指定され、そこで培った経験を活かし、生徒が自主的に考え、将来を切り開く力を身につけることを目指す内容になっている。また、各学科の専門分野においても、資格取得に有利な内容となっている。

学校全体の取り組みとして、「朝の読書」・「アイデアコンペ」等を実施しており、読書習慣や落ち着いた学習環境づくりと、生徒の創造力の育成を目指している。

本校の工業施設も充実しており、生徒はものづくりの基本から先端技術に至るまで、実習を通して多くの知識と技能を学ぶことができる。自動車科では、3級自動車整備士国家資格の実技試験免除の整備士養成施設として認証されている。

2 生徒の実態

学習到達度に大きな差のある生徒が入学している。その中には、工業の学習に欠かせない分数計算や比例計算などの基礎学力が十分には身に付いていない。また、全体的に学習習慣や読書習慣が十分には身に付いておらず、主体的な学習を苦手とする生徒が多い。板書や授業記録のノートの取り方など、基本から指導していく必要がある。

その一方で、学年の進行とともに学習に意欲を見せる生徒は増加しており、改善が見られる就職状況と相まって、高学年になるほど、資格取得や進路実現に向けて努力する生徒が多くなっている。また、高学歴志向や地方私立大学の易化傾向から、進学希望の生徒が一定数に達しており、今後も進路実現に向けた学力向上が求められている。

3 調査の観点及び視点

	観点	視点
①	基礎基本の定着	○単元の目標及びまとめの示し方 ○言葉の特徴やきまりに関する事項の扱い方 ○伝統と文化に関する内容の記述
②	学習方法の工夫	○問題解決的な学習を実施するための工夫 ○興味・関心を高めるための工夫
③	内容の構成・配列・分量	○年間の学習内容の見通しのもとせ方 ○単元や資料等の配列 ○系統性と反復性の工夫
④	内容の表現・表記	○挿絵・写真等の活用 ○巻末資料の示し方 ○配色や文字の大きさ等の工夫
⑤	言語活動の充実	○学校図書館機能の活用 ○ねらいに応じた言語活動の設定及びその工夫

平成29年度使用高等学校・中等教育学校（後期課程）用教科用図書申請書

記入上の注意

- 1 教科・科目順とすること。
- 2 発行の番号・略称、教科書の記号・番号は教科書目録によること。
- 3 すでに使用していて次年度も引き続き使用する教科書（生徒が購入しないもの）は学年欄の数字を○で囲んで示すこと。
- 4 教科書の調査の観点に従って評価し、選定した教科書について理由を記述すること。

広島市教育長様
 (学校教育指第二課)

学校名 広島工業高等学校(全日制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校教科用図書申請書(その1)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記		
1	国語	国語総合	183 第一	国総 361	高等学校 改訂版 標準国語総合	◎	○	◎	○	◎	生徒の質の高い読書活動を推進するため、「読むこと」に関わる実践的な表現活動を行う教材を「言語活動」として設定している。
			15 三省堂	国総 339	明解国語総合 改訂版	◎	○	○	○	○	
②	国語	国語総合	183 第一	国総 327	高等学校 標準国語総合	◎	○	◎	○	◎	思考力・判断力・表現力を育成するため、教材に即した実践的な課題を設定した「言語活動」を設けている。
3	国語	国語表現	50 大修館	国表 305	国語表現	◎	◎	◎	○	○	基礎基本の徹底を図るため、表現のために参考となる文章や資料を示す「表現への扉」を掲載している。また、生徒の興味関心を高めるため、「参考」を数多く掲載している。
			17 教出	国表 301	国語表現	○	○	◎	○	○	
3	国語	現代文A	2 東書	現A 301	現代文A	◎	◎	◎	○	◎	基礎基本の徹底に向け、単元の冒頭で目標を明確に示している。言語活動の充実を図るため、「言語活動編」を設け、詳しく解説している。
			15 三省堂	現A 303	現代文A	○	◎	◎	○	○	
3	地理歴史	世界史A	81 山川	世A 316	世界の歴史 改訂版	◎	◎	◎	◎	○	生徒が見通しを持つて学習に取り組めるよう、小単元ごとに学習のねらいを端的に示している。地理的条件に留意し、各地域世界に「風土と人々」を設け、大きくわかりやすい地図を掲載している。
			7 実教	世A 312	新版世界史A 新訂版	◎	○	◎	○	○	
2	地理歴史	日本史A	183 第一	日A 312	高等学校 改訂版 日本史A 人・くらし・未来	◎	◎	◎	◎	○	生徒の興味関心を高めることができるよう、同時代に生きた人物の目を通して知る「歴史の目」などの特集ページを適宜設けている。
			35 清水	日A 310	高等学校 日本史A 新訂版	◎	○	◎	○	○	

平成28年 7月 20日

広島市教育長 様
 (学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校(全日制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校教科用図書申請書(その2)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
2	地理歴史	地理A	46 帝国 第一	地A 308	高等学校 新地理A	◎	◎	○	○	○	選定	生徒が興味関心を高めることができよう、学習する地域と日本との関わりを紹介するコラムを適宜掲載している。
			183 第一	地A 310	高等学校 新版 地理A 世界に目を向け、地域を学ぶ	◎	○	○	○	○	○	
2	地理歴史	地理A	46 帝国 第一	地図 310	新詳高等地図	○	◎	○	◎	○	選定	生徒が主体的に活用できよう、テーマを示し主題図を複数掲載する特集ページ「GLOBALEYE」を設けている。
			130 二宮	地図 312	基本地図帳 改訂版	○	○	○	○	○	○	
1	公民	現代社会	183 第一	現社 322	高等学校 改訂版 新現代社会	◎	◎	◎	◎	○	選定	生徒が興味関心を高めよう、各章の冒頭において、学習項目と関連する生徒の身近に見られる社会現象を取り上げている。
			104 数研	現社 320	改訂版 高等学校 現代社会	◎	○	◎	◎	○	○	
1	数学	数学I	104 数研	数I 330	改訂版 最新 数学I	◎	○	◎	○	○	選定	巻頭に中学校で学習した内容を確認する問題を掲載している。また、学習の振り返りができよう、節末や章末の練習問題には問題番号を付している。
			183 第一	数I 334	新編数学I	◎	○	○	○	○	○	
2	数学	数学II	104 数研	数II 312	最新 数学II	◎	○	◎	◎	○	選定	基礎基本の定着を確認しながら学習を進めることができよう、章末問題には参考とする問題番号を付している。
			183 第一	数II 315	高等学校 新編数学II	◎	○	○	◎	○	○	
③	数学	数学II	104 数研	数II 312	最新 数学II	◎	○	◎	◎	○	選定	基礎基本の定着を確認しながら学習を進めることができよう、章末問題には参考とする問題番号を付している。

広島市教育長 様
 (学校教育指導第二課)

学校名 広島工業高等学校(全日制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校教科用図書申請書(その3)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記		
3	数学	数学Ⅲ	104 数研	数Ⅲ 311	最新 数学Ⅲ	◎	○	◎	◎	○	選定 学習内容の理解をより深めることができよう、発展的な内容を「研究」、興味深い話題を「コラム」として取り上げている。
			183 第一	数Ⅲ 313	高等学校 新編数学Ⅲ	◎	○	○	◎	○	
2	数学	数学A	104 数研	数A 330	改訂版 最新 数学A	◎	◎	◎	○	◎	選定 興味関心を高めることができよう、身近な題材を課題学習に取り上げている。
			183 第一	数A 334	新編数学A	○	◎	○	○	◎	
2	数学	数学B	104 数研	数B 312	最新 数学B	◎	○	◎	◎	○	選定 基本問題の定着を図ることができよう、章末問題は難易によってA、Bに分類して示しており、関連する例題等の問題番号を付して示している。
			183 第一	数B 315	高等学校 新編数学B	◎	○	○	◎	○	
1	理科	科学と人間生活	183 第一	科人 309	高等学校 改訂 科学と人間生活	◎	○	◎	○	○	選定 基本問題の定着を図ることができよう、節ごとに穴埋め形式の「まとめよう」を掲載している。
			7 実教	科人 307	科学と人間生活 新訂版	○	○	○	○	○	
2	理科	物理基礎	183 第一	物基 321	高等学校 改訂 新物理基礎	◎	○	◎	○	○	選定 見通しを持って学習できるよう、見開きで一つのテーマを扱い、めあてを明示している。また、基本問題の定着を図ることができよう、各草末に「まとめよう」を設けている。
			7 実教	物基 314	高校物理基礎 新訂版	○	○	○	○	○	
③	理科	物理基礎	183 第一	物基 310	高等学校 新物理基礎	◎	○	◎	○	○	選定 基本問題の定着を図ることができよう、学習内容を例題や問で確認できる構成であり、反復練習が必要な問題を「ドリル」として掲載している。

広島市教育長様
 (学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校(全日制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校教科用図書申請書(その4)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
1	保健体育	保健	50 大修館	保体 304	現代高等保健体育改訂版	◎	◎	◎	◎	○	選定	工業科目との関連を図り、生徒の興味関心を高めることができよう、社会生活と健康に関するテーマを設けている。
			50 大修館	保体 305	最新高等保健体育改訂版	◎	○	○	◎	○	○	
②	保健体育	保健	50 大修館	保体 301	現代高等保健体育	◎	◎	○	◎	○	選定	工業科目との関連を図り、生徒の興味関心を高めることができよう、環境教育に関する「過去の公害から学ぶ環境問題」の読み物が設けている。
1	芸術	書道 I	38 光村	書 I 308	書 I	◎	○	◎	○	◎	選定	篆刻・刻字の学習を深めることができよう、小冊子「篆刻刻字う、16ページ」を添付している。また、学習したことを活用できるよう、資料編で書写・書道の基本や生活の中の書を示している。
			2 東書	書 I 305	書道 I	○	○	○	○	◎	○	
1	外国語	コミュニケーション ケン英語 I	15 三省堂	コ I 335	VISTA English Communication I New Edition	◎	○	○	○	◎	選定	生徒が言語の使用場面を理解できるよう、「USE ENGLISH」で「気持ちを伝えよう」「説明しよう」「ほめよう」などの様々な言語活動が設けられている。中学校における基本項目が確認できるよう、「Get Ready!」や「のちやんの英文法」が設けている。
			2 東書	コ I 328	All Aboard! English Communication I	○	◎	○	○	○	○	
2	外国語	コミュニケーション ケン英語 II	15 三省堂	コ II 308	VISTA English Communication II	◎	○	◎	○	△	選定	生徒が言語の使用場面を理解できるよう、「USE ENGLISH」で「図を説明しよう」「訂正しよう」「感謝の気持ちを伝えよう」などの様々な言語活動が設けている。
			2 東書	コ II 301	All Aboard! Communication English II	○	◎	△	○	○	○	
③	外国語	コミュニケーション ケン英語 II	15 三省堂	コ II 308	VISTA English Communication II	◎	○	◎	○	△	選定	生徒が言語の使用場面を理解できるよう、「USE ENGLISH」で「図を説明しよう」「訂正しよう」「感謝の気持ちを伝えよう」などの様々な言語活動が設けている。

広島市教育長様
 (学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校(全日制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校教科用図書申請書(その5)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
2	家庭	家庭総合	183 第一	家総 312	高等学校 新版 家庭総合 ともに 生きる・持続可能な未来をつくる	◎	○	◎	○	◎	選定	日常生活上の課題に主体的に取り組むことが できるよう、章末に課題例と追究方法を 会話形式で例示するなどの言語活動を設け ている。
			6 教図	家総 308	新家庭総合 今を学び 未来 を描き 書らしをつくる	◎	○	◎	○	○	○	
③	家庭	家庭総合	183 第一	家総 306	高等学校 家庭総合 ともに 生きる・未来をつくる	◎	○	○	◎	○	選定	日常生活上の課題に主体的に取り組むことが できるよう、章末に「テーマ学習」を設 けている。
1	工業 (共通)	工業技術基礎	7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めるとともに理解の定 着を図ることができよう、事例や記述が なされ、イラストなどの資料を多く掲載し ている。
			7 実教	工業 303	電気製図	◎	○	○	◎	○	○	
③	工業 (共通)	課題研究	7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	○	○	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めるとともに理解の定 着を図ることができよう、事例や記述が なされ、イラストなどの資料を多く掲載し ている。
			7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	◎	○	◎	○	○	
②	工業 (共通)	実習	7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めるとともに理解の定 着を図ることができよう、事例や記述が なされ、イラストなどの資料を多く掲載し ている。
			7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	◎	○	◎	○	○	

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校(全日制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校教科用図書申請書(その6)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
③	工業 (共通)	実習	7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めるとともに理解の定着を図ることができるよう、事例や記述がなされ、イラストなどの資料を多く掲載している。
1	工業 (機械)	製図	7 実教	工業 302	機械製図	◎	○	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、図例や記入例を分かりやすく、示している。また、理解しやすいよう製図例プリントを掲載している。
2	工業 (自動車)	製図	7 実教	工業 302	機械製図	◎	○	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、図例や記入例を分かりやすく、示している。また、理解しやすいよう製図例プリントを掲載している。
②	工業 (機械)	製図	7 実教	工業 302	機械製図	◎	○	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、図例や記入例を分かりやすく、示している。また、理解しやすいよう製図例プリントを掲載している。
③	工業 (機械) (自動車)	製図	7 実教	工業 302	機械製図	◎	○	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、図例や記入例を分かりやすく、示している。また、理解しやすいよう製図例プリントを掲載している。
③	工業 (電気)	製図	7 実教	工業 303	電気製図	◎	○	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、単元のねらいを示して入る。また、電気・電子に関する図記号を表示している。

広島市教育長 様
 (学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校(全日制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校教科用図書申請書(その7)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
3	工業 (情報電 子)	製図	7 実教	工業 304	電子製図	◎	○	○	◎	○	選定	基礎基本の定着が図られるよう、専門分野以外の図記号を掲載するとともに、基本となる図面も示している。
1	工業 (建築)	製図	7 実教	工業 305	建築設計製図	○	◎	○	◎	○	選定	生徒が興味関心を高めることができるよう、巻頭にカラーの挿絵を掲載している。また、本文・製図例ともに大きく示している。
②	工業 (建築)	製図	7 実教	工業 305	建築設計製図	○	◎	○	◎	○	選定	生徒が興味関心を高めることができるよう、巻頭にカラーの挿絵を掲載している。また、本文・製図例ともに大きく示している。
③	工業 (建築)	製図	7 実教	工業 305	建築設計製図	○	◎	○	◎	○	選定	生徒が興味関心を高めることができるよう、巻頭にカラーの挿絵を掲載している。また、本文・製図例ともに大きく示している。
2	工業 (環境設備)	製図	7 実教	工業 368	設備工業製図	◎	○	○	◎	○	選定	基礎基本の定着が図られるよう、衛生・防災設備図や空調ダクト図・配管図など設備に関する図面を多く掲載している。
③	工業 (環境設備)	製図	7 実教	工業 368	設備工業製図	◎	○	○	◎	○	選定	基礎基本の定着が図られるよう、衛生・防災設備図や空調ダクト図・配管図など設備に関する図面を多く掲載している。

校番	高4
----	----

平成28年 7月 20日

広島市教育長様
 (学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校(全日制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校教科用図書申請書(その8)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
1	工業 (機械)	工業数理 基礎	7 実教	工業 308	工業数理基礎	◎	◎	○	○	○	選定	生徒の基礎基本の定着を図ることができ、長さを掲載している。また、興味関心を高めることができるよう、例題とともに平易な練習問題を多く取り入れている。
②	工業 (機械)	工業数理 基礎	7 実教	工業 308	工業数理基礎	◎	◎	○	○	○	選定	生徒の基礎基本の定着を図ることができ、長さを掲載している。また、興味関心を高めることができるよう、例題とともに平易な練習問題を多く取り入れている。
1	工業 (共通)	情報技術 基礎	7 実教	工業 385	情報技術基礎 新訂版	◎	◎	◎	○	○	選定	プログラムの基礎を確実に習得できるように、工業科で扱うBASICとC言語を章立てして掲載している。
						○	◎	○	○	○		
2	工業 (機械) (環境設備)	生産シス テム技術	7 実教	工業 313	生産システム技術	◎	◎	○	○	○	選定	基礎基本の定着を図れるよう、基礎となる公式を適切に表記している。また、興味関心を高められることができるよう、コラムや単位の由来の説明を適宜、掲載している。
③	工業 (機械)	生産シス テム技術	7 実教	工業 313	生産システム技術	◎	◎	○	○	○	選定	基礎基本の定着を図れるよう、基礎となる公式を適切に表記している。また、興味関心を高められることができるよう、コラムや単位の由来の説明を適宜、掲載している。
1 4	工業 (機械)	機械工作	7 実教	工業 317	新機械工作	◎	◎	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができ、具体的な機械材料を表記している。また、興味関心を高められることができるよう、コラムを適宜、掲載している。
						○	○	○	○	○		

広島市教育長様
 (学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校(全日制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校教科用図書申請書(その9)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
2	工業 (機械)	機械設計	7 実教	工業 319	機械設計1	◎	○	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるように、 章ごとに練習問題を多く設けている。また、 た、単位や量記号を分かりやすく表記して いる。
			7 実教	工業 318	新機械設計	○	○	○	○	○		
2	工業 (機械)	機械設計	7 実教	工業 320	機械設計2	◎	○	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるように、 章ごとに練習問題を多く設けている。また、 た、単位や量記号を分かりやすく表記して いる。
			7 実教	工業 318	新機械設計	○	○	○	○	○		
③	工業 (機械)	機械設計	7 実教	工業 319	機械設計1	◎	○	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるように、 章ごとに練習問題を多く設けている。また、 た、単位や量記号を分かりやすく表記して いる。
③	工業 (機械)	機械設計	7 実教	工業 320	機械設計2	◎	○	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるように、 章ごとに練習問題を多く設けている。また、 た、単位や量記号を分かりやすく表記して いる。
3	工業 (機械)	原動機	7 実教	工業 345	原動機	○	◎	◎	○	○	選定	専門的な学習内容について、より理解を深 めることができるよう、内燃機関と流体機 械についても詳しく解説している。
1	工業 (自動車)	自動車工学	7 実教	工業 322	自動車工学1	◎	○	○	◎	○	選定	基礎基本の徹底に向け、節ごとの冒頭に学 習のねらいを明確に示している。また、自 動車に関する専門的な用語を掲載してい る。

広島市教育長様
 (学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校(全日制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校教科用図書申請書(その10)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記 言語活動		
1	工業 (自動車)	自動車工学	7 実教	工業 323	自動車工学2	◎	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるように、節ごとに学習のねらいを示している。また、節ごとに自動車に関する専門的な用語を掲載されている。
②	工業 (自動車)	自動車工学	7 実教	工業 322	自動車工学1	◎	○	◎	○	選定	基礎基本の徹底に向け、節ごとの冒頭に学習のねらいを明確に示している。また、自動車に関する専門的な用語を掲載している。
②	工業 (自動車)	自動車工学	7 実教	工業 323	自動車工学2	◎	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるように、節ごとに学習のねらいを示している。また、節ごとに自動車に関する専門的な用語を掲載されている。
③	工業 (自動車)	自動車工学	7 実教	工業 322	自動車工学1	◎	○	◎	○	選定	基礎基本の徹底に向け、節ごとの冒頭に学習のねらいを明確に示している。また、自動車に関する専門的な用語を掲載している。
③	工業 (自動車)	自動車工学	7 実教	工業 323	自動車工学2	◎	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるように、節ごとに学習のねらいを示している。また、節ごとに自動車に関する専門的な用語を掲載されている。
1	工業 (自動車)	自動車整備	7 実教	工業 347	自動車整備	◎	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるように、節ごとに学習のねらいを示している。また、作業工程が確認できるような、自動車整備の安全作業の心得を掲載している。

広島市教育長様
 (学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校(全日制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校教科用図書申請書(その11)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記 言語活動		
②	工業 (自動車)	自動車整備	7 実教	工業 347	自動車整備	◎	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることを示している。また、作業工程が確認できよう、自動車整備の安全作業の心得を掲載している。
③	工業 (自動車)	自動車整備	7 実教	工業 347	自動車整備	◎	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることを示している。また、作業工程が確認できよう、自動車整備の安全作業の心得を掲載している。
1	工業 (電気) (情報電子)	電気基礎	7 実教	工業 388	電気基礎1 新訂版	○	◎	◎	○	選定	専門的な内容を学習することができよう、各章の節の項目を多く設定している。
1	工業 (電気) (情報電子)	電気基礎	7 実教	工業 389	精選電気基礎 新訂版	○	○	◎	○	選定	専門的な内容を学習することができよう、各章の節の項目を多く設定している。
②	工業 (電気) (情報電子)	電気基礎	7 実教	工業 325	電気基礎1	○	◎	◎	○	選定	専門的な内容を学習することができよう、見返しに単位・図記号を掲載している。また、例題や問題を適宜設けている。
②	工業 (電気) (情報電子)	電気基礎	7 実教	工業 326	電気基礎2	○	◎	◎	○	選定	専門的な内容を学習することができよう、見返しに単位・図記号を掲載している。また、例題や問題を適宜設けている。

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校(全日制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校教科用図書申請書(その12)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
③	工業 (情報電子)	電気基礎	7 実教	工業 326	電気基礎2	○	◎	◎	○	○	選定	専門的な内容を学習することができるように、見返しに単位・図記号を掲載している。また、例題や問題を適宜設けている。
						○	○	○	○	○	○	
2	工業 (電気)	電気機器	7 実教 154 オーム	工業 348	電気機器	◎	○	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるように、章の始めに学習内容を示している。また、電気用図記号等を掲載している。
						○	○	○	○	○	○	
③	工業 (電気)	電気機器	7 実教	工業 348	電気機器	◎	○	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるように、章の始めに学習内容を示している。また、電気用図記号等を掲載している。
						○	○	○	○	○	○	
3	工業 (電気)	電力技術	7 実教 154 オーム	工業 350	電力技術1 電力の発生と輸送	○	◎	◎	◎	○	選定	課題解決的な学習ができるよう、多様な節末問題や章末問題を掲載している。
						○	○	○	○	○	○	
3	工業 (電気)	電力技術	7 実教 154 オーム	工業 351	電力技術2 電力の利用と制御	○	◎	◎	◎	○	選定	課題解決的な学習ができるよう、多様な節末問題や章末問題を掲載している。
						○	○	○	○	○	○	
2	工業 (電気)	電子技術	7 実教 154 オーム	工業 354	電子技術	◎	◎	◎	◎	○	選定	生徒の興味関心が高めることができるように、適宜実習できる内容を示している。
						◎	○	○	○	○	○	

広島市教育長様
 (学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校(全日制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校教科用図書申請書(その13)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現・表記			言語活動
2	工業 (情報電子)	電子回路	7 実教	工業 356	電子回路	○	◎	○	◎	○	選定	専門的な内容についてより詳しく理解ができるよう、章ごとに学習のポイントやまとめを記載している。
			174 コロナ	工業 357	電子回路	○	○	○	○	○		
③	工業 (情報電子)	電子回路	7 実教	工業 356	電子回路	○	◎	○	◎	○	選定	専門的な内容についてより詳しく理解ができるよう、章ごとに学習のポイントやまとめを記載している。
2	工業 (情報電子)	通信技術	7 実教	工業 374	通信技術	◎	○	○	◎	○	選定	基本本の定着を図ることができよう、電話やテレビ・オーディオ装置などの図を多く掲載している。
2	工業 (情報電子)	電子情報 技術	7 実教	工業 359	電子情報技術	○	◎	○	◎	○	選定	電子について、興味関心が高めることができよう、電子部品等の挿絵を多く掲載している。
③	工業 (情報電子)	電子情報 技術	7 実教	工業 359	電子情報技術	○	◎	○	◎	○	選定	電子について、興味関心が高めることができよう、電子部品等の挿絵を多く掲載している。
2	工業 (情報電子)	プログラ ミング技 術	7 実教	工業 333	プログラミング技術	◎	◎	◎	◎	△	選定	専門的な内容について、詳しく理解ができるよう、C言語によるプログラミングを例題形式で解説している。

校番 高4

平成28年 7月 20日

広島市教育長様
 (学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校(全日制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校用教科用図書申請書(その14)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記 言語活動		
1	工業 (建築)	建築構造	7 実教	工業 334	建築構造	◎	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、 構造の違う建物のカラー写真を掲載してい る。また、章で学ぶ内容を明確に表記して いる。 生徒の興味関心を高めることができるよ う、コラムやカラー写真を掲載している。
						○	◎	◎	○	選定	
2	工業 (建築)	建築計画	7 実教	工業 362	建築計画	○	◎	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めることができるよ う、コラムやカラー写真を掲載している。
						○	◎	◎	○	選定	
③	工業 (建築)	建築計画	7 実教	工業 362	建築計画	○	◎	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めることができるよ う、コラムやカラー写真を掲載している。
						○	◎	◎	○	選定	
2	工業 (建築)	建築構造 設計	7 実教	工業 363	建築構造設計	○	◎	◎	○	選定	専門的な内容を学習することができるよう う、力学の主な記号を掲載している。ま た、各節ごとに学習の目的を掲載してい る。
						○	◎	◎	○	選定	
③	工業 (建築)	建築構造 設計	7 実教	工業 363	建築構造設計	○	◎	◎	○	選定	専門的な内容を学習することができるよう う、力学の主な記号を掲載している。ま た、各節ごとに学習の目的を掲載してい る。
						○	◎	◎	○	選定	
3	工業 (建築)	建築施工	7 実教	工業 376	建築施工	○	◎	◎	○	選定	施工に携わる人々の仕事と工事の流れを学 習できるよう、写真を多く掲載している。 また、工事で使用する建設機械も掲載して いる。
						○	◎	◎	○	選定	

広島市教育長様
 (学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校(全日制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校教科用図書申請書 (その15)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
2	工業 (建築)	建築法規	7 実教	工業 377	建築法規	○	◎	○	◎	○	○	専門的な内容について、詳しく学習できるよう、法令用語の解説を掲載している。また、章ごとに練習問題を設けている。
1	工業 (環境設備)	設備計画	7 実教	工業 338	設備計画	◎	○	○	◎	○	○	基礎基本の定着を図ることができるよう、例題やそれに関する練習問題を適宜設けている。また解説図も多く掲載している。
2	工業 (環境設備)	空気調和 設備	179 電機大	工業 381	空気調和設備	◎	○	○	◎	○	○	空調設計について興味関心を高めることができるよう、設計、施工に関するイラストや図を多く設けている。
③	工業 (環境設備)	空気調和 設備	179 電機大	工業 381	空気調和設備	◎	○	○	◎	○	○	空調設計について興味関心を高めることができるよう、設計、施工に関するイラストや図を多く設けている。
1	工業 (環境設備)	衛生・防 災設備	7 実教	工業 339	衛生・防災設備	○	◎	◎	○	○	○	専門的な学習内容について理解できるよう、設備で扱う単位や記号及び関係法令をまとめて示している。
②	工業 (環境設備)	衛生・防 災設備	7 実教	工業 339	衛生・防災設備	○	◎	◎	○	○	○	専門的な学習内容について理解できるよう、設備で扱う単位や記号及び関係法令をまとめて示している。

校番 高4

平成28年 7月 20日

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校(全日制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校教科用図書申請書(その16)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記 言語活動		
③	工業 (環境設備)	衛生・防 災設備	7 実教	工業 339	衛生・防災設備	○	◎	◎	○	選定	専門的な学習内容について理解できるよ う、設備で扱う単位や記号及び関係法令を まとめ示している。
3	工業 (環境設備)	工業化学	7 実教	工業 336	工業化学1	◎	◎	○	○	選定	生徒が興味関心を高め、基礎基本の定着を 図るため、練習問題や章末問題を設けてい る。また、元素記号に係る表を掲載してい る。
3	工業 (環境設備)	工業化学	7 実教	工業 337	工業化学2	◎	◎	○	○	選定	生徒が興味関心を高め、基礎基本の定着を 図るため、練習問題や章末問題を設けてい る。また、元素記号に係る表を掲載してい る。
3	工業 (環境設備)	化学工学	7 実教	工業 367	化学工学	◎	○	○	○	選定	化学に関する専門的な学習について、基礎 基本の定着が図れることができるよう、写 真や図を多く掲載している。
1	工業 (環境設備)	地球環境 化学	7 実教	工業 380	地球環境化学	○	◎	○	○	選定	生徒が興味関心を高めることができるよ う、巻頭にカラー写真に掲載している。ま た、学習の理解が深められるよう、付録を 設けている。
②	工業 (環境設備)	地球環境 化学	7 実教	工業 380	地球環境化学	○	◎	○	○	選定	生徒が興味関心を高めることができるよ う、巻頭にカラー写真を掲載している。ま た、学習の理解が深められるよう、付録を 設けている。

(様式4)

広島市立広島工業高等学校平成29年度使用教科用図書選定委員会規約

(設置)

第1条 広島市立広島工業高等学校（以下「学校」という。）において使用する教科用図書の選定について審議するため、広島市立広島工業高等学校平成29年度使用教科用図書選定委員会（以下「選定委員会」という。）を設置する。

(組織)

第2条 選定委員会は、委員8人以内をもって組織する。

(委員)

第3条 次に掲げる者を委員とする。

- (1) 学校の校長・教頭・主幹教諭・事務長・教務主任
- (2) 保護者代表、学校協力者会議委員、学識経験者等

2 委員の任命及び委嘱は校長が行う。

3 委員の任期は、委員会の開催日から開催年の10月末日までとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 選定委員会には、委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、校長とする。

3 副委員長は、委員の互選によってこれを定める。

4 委員長は、会務を掌理し、選定委員会を代表する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 選定委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 選定委員会は、委員の3分の2以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 選定の内容については、教科用図書を採択する教育委員会の会議が開催されるまで非公開とする。

(調査員)

第6条 選定委員会に、専門の事項を調査させるため、調査員を置く。

2 調査員は、学校の教諭のうちから、校長が任命する。

(庶務)

第7条 選定委員会の庶務は、広島市立広島工業高等学校において処理する。

(委任規定)

第8条 この規約に定めるもののほか、選定委員会の運営に関し必要な事項は、校長が定める。

附 則

この規約は、平成28年 6月10日から施行する。